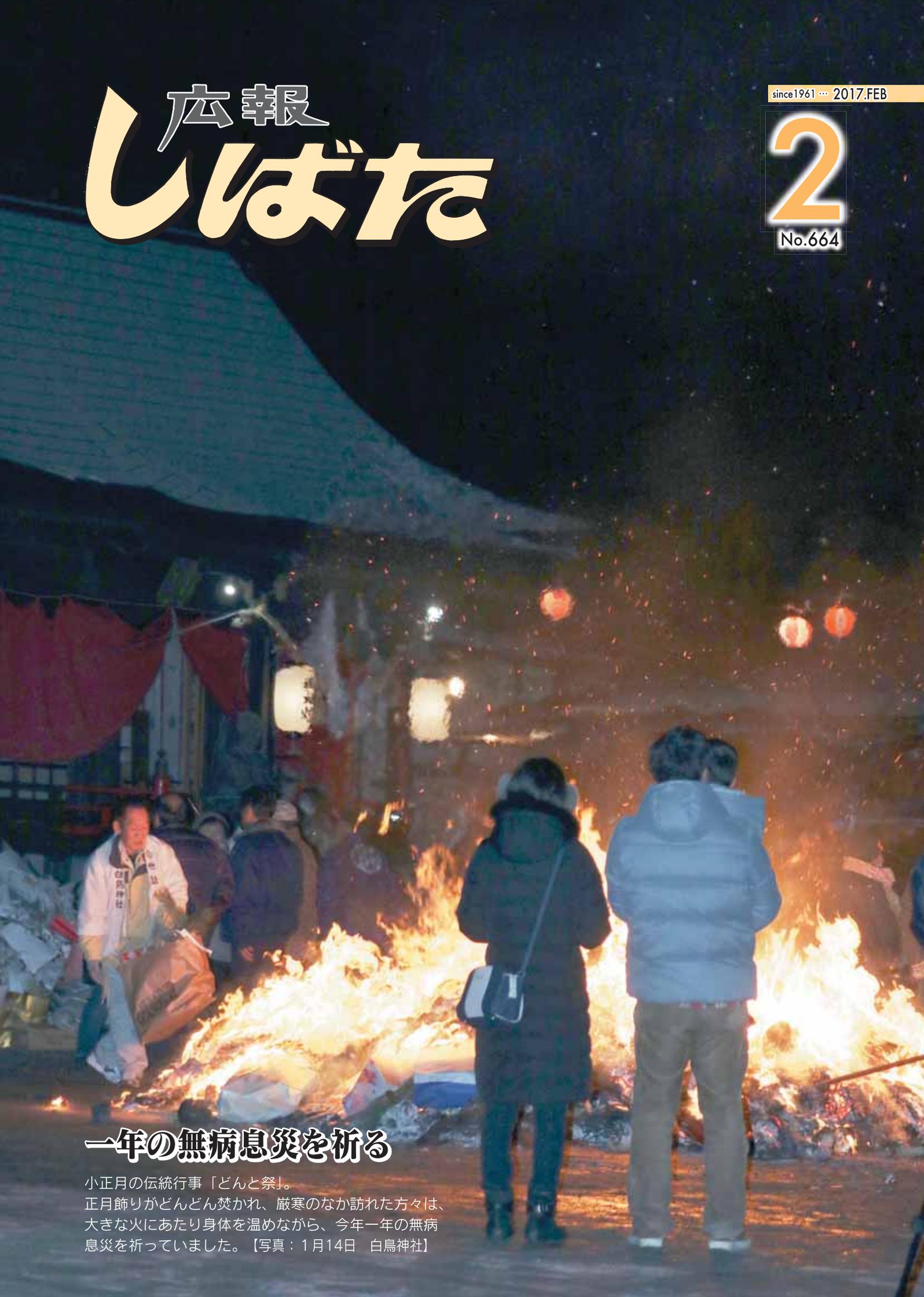


# 報 廣 しばた



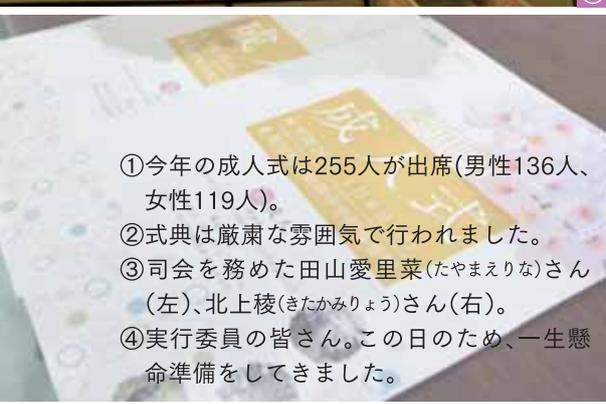
## 一年の無病息災を祈る

小正月の伝統行事「どんと祭」。  
正月飾りがどンドン焚かれ、厳寒のなか訪れた方々は、  
大きな火にあたり身体を温めながら、今年一年の無病  
息災を祈っていました。【写真：1月14日 白鳥神社】



# 柴田町 成人式

新成人467人の  
門出を祝う



- ①今年の成人式は255人が出席(男性136人、女性119人)。
- ②式典は厳粛な雰囲気で行われました。
- ③司会を務めた田山愛里菜(たやまありな)さん(左)、北上稜(きたかみりょう)さん(右)。
- ④実行委員の皆さん。この日のため、一生懸命準備をしてきました。

「成人の日」。

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます記念日として、昭和23年に制定されました。

柴田町では1月8日(日)、船岡中学校体育館を会場に、成人式が挙行されました。

今年も、平成8年4月2日から平成9年4月1日に生まれた467人(男性257人、女性210人)が成人を迎えました。式典に出席した新成人たちの凛とした面持ちは、大人としての決意の表れのようなものでした。また、数年ぶりの地元の同級生たちとの再会に、会場には笑顔が溢れていました。

式典で滝口町長は、「人は、成長し続ける中で充実した人生が得られるのだと思います。皆さんにはおさなりの人生ではなく、凛とした人生を歩んでほしいと願っています」と新成人に想いを伝えました。

家族や恩師、地域の皆さんに祝福された新成人たちは、大人として新たなステージへと上りました。



新成人代表  
しずや まさみ  
静谷 麻佐美さん

本日、成人の門出を迎えることができましたのは、ひとえに家族や先生方、地域の皆さまの温かい愛情やご指導があったおかげだと思っています。

私は今、高校生の時から志望していた大学で心理学を学んでいます。もともと興味のあった学問なので、大学へ進み、深く学ぶことができて毎日充実しています。しかし自己満足で終わるのではなく、働き始めたときに活かせるような人間理解の力を身に付けられるように勉強に励んでいきたいと思っています。

## 二十歳のメッセージ

平和な日本に生まれ、柴田町の豊かな自然に抱かれて育った私たちは本当に恵まれていたと思います。小学校、中学校時代は先生方のお世話になり、両親に支えられて大好きな部活動に没頭して成長しました。そんな中、私たちの成長を語る上で避けて通れないのが、中学校2年生のときに経験した東日本大震災です。飲み水を得るのも大変で、明日食べる物の心配を初めてすることになりました。今思えば、友達の大切さや人と人との絆など学んだことはたくさんありましたが、失ったものの大きさに唖然とする毎日でした。柴田町は、



新成人代表  
かも あつし  
加茂 篤思さん

震災の爪痕が随分と修復されつつありますが、まだまだ復興の道半ばの地域もあります。成人を迎える私たちにとって、震災からの完全な復興は与えられた使命の一つと感じています。

私は仙台の高校に進学し、卒業後は予備校生活を一年送りました。毎日が不安の連続で、偏差値に一喜一憂する日々でしたが、自分の夢と向き合い、将来教員になることを目指して教育大学に進んでいます。

本日は成人式を迎え、すでに職業についている人や学業に励んでいる人などさまざまですが、自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心をもって生きていくことを誓います。そして、柴田町を魅力ある町にするために尽くしてきた多くの先人たちに恥じないよう、今度は私たちが力を尽くしていきたいと思っています。

※一部抜粋

私の父と母は飲食店を経営しており、私はそのお店でアルバイトをしています。お金を稼ぐことの大変さや、お客さまからの感謝の言葉がどれほど力になるかなど学ぶことが多くあります。また、父と母の働いている姿を見るとお客さまを大切に思う気持ちが伝わってきます。真心を込めて丁寧な仕事をする両親をとっても尊敬し誇りに感じると同時に、自分もそうでありたいとますます強く感じるようになりました。

私たちは二十歳を迎えたばかりで、社会に出て働いている人、学生として勉強している人などさまざまです。成人を迎えた今、大人としての自覚を持ち責任ある社会人として歩んでいけるよう、日頃から感謝の気持ちを忘れず精神してまいりませうので、これからも温かい目でご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

※一部抜粋

# 元気いっぱいしばたっ子

～わくわく小学校生活 入学までにやっておこう～



問 教育総務課 学務班 ☎55-2134

(写真：東船岡小学校1年生)



子どもたちが模擬店を出店する東船岡秋祭り

平成29年4月、町内6小学校に男子180人、女子132人(合計312人)の子どもたちが入学します。(平成29年1月10日現在)  
町内の小学校では、勉強以外にも運動会や学習・音楽発表会、持久走大会、合宿体験、天文台や水族館、工場などの見学会のほか、学校独自になわとび大会、地域や育成会と学校が一緒に行う秋祭り、かるたとり大会など、子どもたちの思い出づくりや健やかな成長を願っているいろいろな特色ある行事を行っています。

小学校6年間では、身長・体重など下図のように大きく成長します。また、「神経系統」の成長は12歳頃にはほぼ100%になります。一度、自転車に乗れるようになる何年も乗らない時期があってもいつでも乗ることができると同じで、この6年の間に多種多様な動きのある「遊び」を経験させることがとても大切です。自らの力で「できた」という体験は年齢を経ても忘れることはありません。年齢に応じたチャレンジをたくさんしてみましょう。  
さて、4月の小学校入学を待ち望んでいるお子さんは、ワクワクしながら学校生活に思いをはせていると思います。逆に不安を抱えているお子さんもいるかも知れません。  
そこで、小学校生活が楽しくスタートできるように、習慣づけておきたいことをお子さんと一緒に始めてみましょう。

## 早寝早起きに慣れよう

小学校は8時頃までに登校しなければなりません。目が覚めてから動き出すまで時間がかかってしまうお子さんもいますので、起きる時間を今から決めて早起きに慣れておきましょう。

身長 (平均値)		(cm)		体重 (平均値)		(kg)	
年齢	学年	男子	女子	年齢	学年	男子	女子
6歳	1年生	116.5	115.5	6歳	1年生	21.3	20.8
7歳	2年生	122.5	121.5	7歳	2年生	23.9	23.4
8歳	3年生	128.1	127.3	8歳	3年生	26.9	26.4
9歳	4年生	133.5	133.4	9歳	4年生	30.4	29.7
10歳	5年生	138.9	140.1	10歳	5年生	34.0	33.9
11歳	6年生	145.2	146.7	11歳	6年生	38.2	38.8

平成27年度学校保健統計調査報告書より抜粋

## 自分のことは自分で できるよになろう

小学生になると自分のことは自分でできるのが当たり前になってきます。例えば、体育の時間になると体操に着替え、脱いだ服をたたむということもしなければなりません。普段から隣で見本を見せながら、一緒に行動と自然と覚えていくでしょう。

## ごはんは、箸で食べられるよになろう

正しい箸の持ち方は言葉で説明しただけでは子どもは理解してくれません。食事の時間とは別に、一緒に小さなものを箸でつまんで積み上げるゲームをするなど、遊びの中で教えてあげられるのも良いでしょう。箸と鉛筆の持ち方は似ていることから両方できるように練習しましょう。

## 通学路の 確認をこころげよう

小学校では登下校が徒歩や自転車になるため、まずは、お子さんと一緒に通学路の確認をしておきましょう。ちょっとした道順でも子どもにとっては不安なものです。通学路の途中に目立つものがあれば、それを目印にしておくことで安心できます。また、交通量が多い所などは安全のためにわかりやすく説明してあげましょう。

## 地域みんなで子どもたち を守りまこよう

小学校に入ると子どもたちだけで遊ぶことが多くなります。防犯上や交通事故防止のため、家庭内で誰とどこで遊ぶのかを確認し、帰宅時間を決めることも大切でしょう。また、被害を未然に防ぐためには、家庭内での話し合いだけではなく、地域の皆さんが子どもたちに目を向けることが大切です。未来を担う子どもたちを守りましょう。



給食の準備は子どもたちで行います  
(写真：東船岡小学校)



スクールガードの皆さんに見守られ登校する子どもたち  
(写真：船岡小学校前)

## 子どもたちの安全確保に 努めます

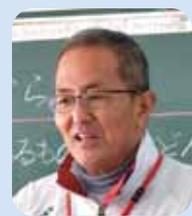


柴田町スクールガード  
リーダー  
さいとう てつたろう  
齋藤 鉄太郎さん

町内6小学校区には警察OBや教員安全指導員、地域の方々など見守り隊と称するボランティアが約320人います。この方々は、通学路で子どもたちが安心して通学できるように、あいさつをしたり声をかけたり、登下校中、児童の誘導をしたりと安全確保のため献身的に活動しています。

今年もピピカの一年生が入学する季節が近づいてきています。近年は見守り隊も高齢化で減少傾向にあります。私共の自助努力だけでは対応ができません。地域で子どもたちを見守り、安心・安全な学校生活を送れるようご協力いただければと思います。

## 新しい出会いが 待っています



東船岡小学校  
おた しょういちろう  
太田 昭一郎先生

「早く一年生になりたい」「友達がたくさんできるといいな」もうすぐ小学校一年生になるお子さまは、そんな気持ちで入学するのは楽しいのではないでしょうか。

小学校には何があるでしょう。広い校庭や体育館、大きなプールもあります。他にもたくさんあります。ここで一つ加えるとしたら、「新しい出会いがたくさんある」ということです。小学校では一年生から六年生までの縦割りグループを作って活動をしています。上級生のお兄さんやお姉さんと一緒に遊んだり活動したりすることを通して上級生への憧れを抱いたり、小学校生活の楽しさを味わったりすることでしょう。



133

柴田町長 滝口 茂

少しずつ暖かい日差しが差し込んできました。

もうすぐ立春。そろそろ野山を歩きたくなるような気分です。

この「歩く」ということを町の重点施策に据えたのがフットパス構想です。

フットパスとは、豊かな自然や昔からの町並み、田園風景など、ありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のことです。イギリスが発祥の地とされています。

フットパスはこれまでのハイキングやウォーキングとは異なり、気分転換や健康づくりに野山を歩くだけではなく、地元の歴史や文化を学んだり、地元の温かいおもてなしに触れたり、おいしい郷土料理や特産品を食べたりする楽しさを提供してくれます。

フットパスを新たなまちづくりの手法として、先進的に取り組んでいるのが山形県長井市や秋田県の由利本荘市です。町でも昨年からはフットパスサポーターのメンバーによって、モデルコースの開発が進められています。

一つ目は、船岡駅を起点に、白石川の土手を西に歩き「しばた千桜橋」を経て

## フットパスによるまちづくり

船岡城址公園に向かい、帰りは白鳥神社やお寺を参拝し、まち中を散策しながら船岡駅に戻るコースです。春は桜やレンギョウ、秋は曼珠沙華など四季折々の花を観ることが出来ます。

二つ目は、槻木駅を起点に、炭釜横穴古墳や四日市場山神社に向かい、上川名貝塚を見て、旧富上分校に至るものです。帰りは、西に蔵王連峰を仰ぎながら、広々とした田園地帯をのんびり歩き、槻木駅に戻るコースです。このコースでは、古くから槻木の地で暮らしていた先人たちの営みの痕跡に触れることが出来ます。

今後、フットパスコースを多くの人に歩いてもらうためには、コースのサイン表示や解説板、トイレなどの整備を行っていく必要があります。しかし、フットパスで一番大切なことは、地域の人たちが、日々の営みや暮らしぶりに誇りを持ち、その生きざまを、自信をもって来訪者に伝えることではないかと思えます。そのおもてなしが、この地を再び訪れたいと思うリーダーにつながるのです。

フットパスという新たな施策は始まったばかりですので、多くの人にその意義や楽しさ、魅力を理解していただけるよう努力してまいります。

## 資源物のリユース

就職、進学などで新生活の準備が始まる時期になりました。それに伴い引越しが多くなり、その前後には多くの家具や家電製品、衣類がごみとして廃棄されます。町の集積所に出せる「もやせないごみ」や、直接処理施設に持込まれる「もやせない粗大ごみ」も、この時期が他の時期より多く排出されています。しかし、中にはまだ使用できるものまで捨てていませんか。リユース（使用済みになっても、もう一度使えるものはごみとして廃棄しないで繰り返し使うこと）を行い、資源物を有効に活用しましょう。

### リユースのポイント

- 必要としている人に譲ったり、リサイクルショップなどを活用したりしましょう。
- 壊れていても修理できるものは修理して使いましょう。

「もやせないごみ」と「もやせない粗大ごみ」の排出量（月平均 / t）

	もやせないごみ	もやせない粗大ごみ
H27.3月～5月（引越しし繁忙期）	30.10	7.14
H27.6月～H28.2月（それ以外の時期）	28.48	5.98

シリーズ 岡町民環境課 TEL 55-2113 FAX 55-4172

しばたecoライフ情報 ⑫

～環境にやさしいまちを目指して～



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ32

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第32回のテーマは、「肥満予防」です。

「肥満」は、糖尿病や脂質代謝異常症・高血圧・心臓疾患などの生活習慣病を始めとして多くの病気を引き起こすため注意が必要です。肥満予防には「食事」と「運動」が大切です。また、「健診による健康状態の確認」がとても効果的です。

町医師団と町との共同事業である「生活習慣病予防～スマート・ボディ講座～」では、医師や栄養士による健康講話や仙台大学スタッフによる運動実技などを行い、日々の生活習慣を振り返りながら、健康的な身体づくりの具体的な方法を学び、みんなで肥満予防に取り組んでいます。

### 講座に参加した方の感想

- 一人ではなかなか実行できないことも、みんなで頑張っていると思うとやる気ができました。
- 今まで体重を量る習慣がなかったのですが、継続できています。自分自身にとってプラスになりました。“継続は力なり”で頑張ります。



ラジオ体操をする参加者の皆さん

### 保健師よりワンポイントアドバイス

#### 肥満予防の食事のポイント

- 食事は3食しっかり摂り、野菜や海藻類、きのこ類から先に食べましょう。
- 30回よく噛み、15分以上かけてゆっくり食べましょう。
- 間食は、どうしても食べたい物を1日1つ、100キロカロリーまでのものを選びましょう。  
(例) 煎餅：3～4枚、大福：半分、板チョコレート：4～5かけ程度が目安です。
- メニューを見直すだけでも簡単に摂取カロリーを抑えることができます。  
(例) 「ショートケーキ」を「コーヒーゼリー」に変える。  
「カルボナーラ」を「和風きのこパスタ」に変える。



#### 肥満予防の運動のポイント

- あと10分、あと1000歩、多く体を動かしましょう。
- 効果的に脂肪を燃焼させるためには、ウォーキングにプラスして筋カトレーニングを加えましょう。
- ラジオ体操は、動かす筋肉を意識して行くと全身のトレーニングになるためお勧めです。

告 告

告 告

# まちかど NEWS



白くうっすらと街を覆う雲海と初日の出  
※太陽の村



七峰山(ななうねやま)から昇る初日の出に歓声が上がりました。 ※船岡城址公園

## 新たな年の始まりを告げた しばたの初日の出

NEWS

澄み切った空気の中、今年も柴田町太陽の村と船岡城址公園では、大勢の方が初日の出を楽しみました。雲の狭間から初日の出が見えると歓声が上がりました。太陽の村に来ていた津田亜矢子さん(槻木地区)は、「初めて来ましたが、とても感動しました。良い一年になりますように」と願っていました。また、船岡城址公園に来ていた佐藤陽子さん(船岡地区)は、「一年の初めにきれいな日の出を見られてよかったです」と感動していました。

## 新春を祝う 新春交歓会

NEWS

1月6日(金)、柴田町民新春交歓会が町内のホテルで開催されました。新春の挨拶を交わす場として毎年開催されているもので、町内の企業や団体、各行政区から392人が参加しました。年頭の挨拶で滝口町長は、「まことに賑わいを創出することで、地域内に稼ぎをつくり出したい。それには、皆さんの協力と団結が必要です」と述べました。柴田町商工会の大槻裕喜会長が乾杯を行い、参加者たちは賑やかに懇談し新春の歓びを分かち合いました。



皆さまのご活躍と町の発展を願いました。

広 告

広 告

## 雪の上でのかるたとり

1月15日(日)、船迫小学校で船迫地区子ども会育成会主催の地区対抗かるたとり大会が行われました。

数年ぶりの雪上での開催とあって、子どもたちは足を滑らせながら読み上げられた絵札をめぐり全力で走り回っていました。中には、転んで取り合う子どもたちもいて雪上ならではのかるたとりを楽しみました。

6年生の八巻旬哉君は、「雪の上で走りづらかったけどとても楽しかったです」と息を弾ませながら笑顔で話してくれました。



転んでも絵札を取り合う子どもたち

## お正月は華やかに



会場は華やかな雰囲気になりました。

12月27日(火)、四日市場沖集会所で正月用の生け花教室が行われました。区民12人が参加し、講師は同区民の岡崎みどりさんが行いました。

参加者は若松、千両、葉牡丹、小菊、デンファレ、柳の6種類の花材を用いて見本を見ながら生け始め、終了時には12通りの華やかな作品が完成しました。

参加者の須藤文代さんは、「花を生けていると心が和むし、お正月が来るのが楽しみです」と話してくれました。

## ナイスプレーに大きな拍手

12月23日(金)、第26回柴田町長杯中学生バレーボール大会が仙台大学で行われました。

男子の部には、岩手県と福島県からの参加もあり、男女各8チームが熱戦を繰り広げました。

岩手県金ケ崎町立金ケ崎中学校渡辺空良(そら)主将(2年生)は、「県外のチームと試合をする機会が少ないし、県によるプレースタイルが違うのでもいい経験になります」と話してくれました。



スパイクが決まり喜ぶ船迫中学校女子選手

告 告

告 告

# こうほう 文芸

## 短歌

寒の道孫と息子にともなはれ  
うれしやうれし山の湯宿へ  
庭先に赤い実食べる小鳥来て  
孫と一緒に為三の童謡を  
初孫も振り袖選び花が咲く  
スマホに写し見せに現わる

船岡 可沼 妙子  
船岡 森田 眞六  
伊藤タイ子

## 川柳

初詣で七福神も御満悦  
シクラメンつぼみ開いて綺麗スピン  
使ひ過ぎ暮正月で後困り  
さあ行くぞ今日ももったかクーパー券

西船迫 安ヶ平良三  
梶木 村上 紫寿  
梶木 大宮 二郎  
船岡 小林 夢子

片づけて捨てられなくて又もどす  
年賀状受け取る幸せかみしめる  
今年こそ無病息災神だのみ  
孫たちに元気で今年もお年玉

船岡 阿部美代子  
西船迫 渡辺 晴江  
梶木 つきのき町子  
西船迫 舟廻めぐる

## 俳句

影つれて流るる雲や小春空  
東天に初の祈りは無事安穩  
障子張り猫との勝負勝ちめなし  
夢のよう二十才の孫の晴姿  
冬木立リス群れ遊ぶ里山かな  
梅一輪新春に咲き誇らしげ  
のどもとの言葉呑み込み小正月  
初春の光曳き込む厨窓  
初御空光のシャワーを賜りぬ

下名生 笠松ふみ子  
船岡 可沼 妙子  
西船迫 安ヶ平奈津枝  
船岡 安藤 節子  
西船迫 玉手みき子  
西船迫 下浦 智子  
葦神 葛  
中野西範子  
石垣テル子

出逢ひとは小さき幸せ福寿草  
蔵王を背に翔らふ鷺や初景色  
莫逆の友らならばと牛鍋す  
外灯に舞い散る如き夜の雪  
観音の装い新た初御空  
晩年という層のあり着ぶくれて  
花愛でしのちの楽しみ菊贈  
病癒えし友と見入るや初蔵王  
初日の出待つ車椅子押されつつ

制野 千秋  
遊佐 徹  
山家美智子  
三塚 直樹  
及川美沙子  
藤原 恪子  
若月ノリ子  
大久保和子  
佐藤きみこ

あなたのお店や会社を  
PRしませんか？

## 広報 しばた 有料広告募集

- 発行日・発行部数：毎月1日(年12回)発行 16,000部
- 配布先：町内全世帯および各公共施設、町内外の関係団体
- 広告の規格：1枠 縦45mm、横86mm
- 広告掲載料：10,000円/1回(1枠)
- 募集枠数：広報紙1回につき12枠(広報紙1回につき1者あたり1枠まで)
- 掲載基準：「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、柴田町有料広告掲載要綱をご覧ください。

- 申込方法：所定の申込書に広告原稿を添えてお申し込みください。申込書などは町ホームページよりダウンロードできます。
- 申込期限：平成29年2月20日(月)



申問 まちづくり政策課 ☎54-2111 ㊚55-4172  
ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

広 告

広 告



夢空間  
2017



切り絵「青根温泉青根御殿」  
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん  
(ペンネーム)

smile  
kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2017)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで2月9日(木)までご応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

問まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「思い出のイワナ釣り」(絵)

西住小学校4年

かりの りゅうが  
狩野 琉牙 さん



「走るじんざ」(絵)

西住小学校3年

たかはし ゆうり  
高橋 侑里 さん



柴田町  
フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介!

問まちづくり政策課 Tel.54-2111



広 告

思いを胸に Vol.40

『人と人の縁を大切に仕事をしていきます』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



住宅リフォームの設計をする千葉さん

有限会社アート工業

千葉 宏樹さん (36歳)  
ちば ひろき

上名生にある有限会社アート工業は、主に住宅のリフォーム工事や新築工事などを手掛けています。今回は、取締役工事部長として活躍している入社9年目の千葉宏樹さんを紹介いたします。

「入社当時は建築業の専門的な用語を覚えるのに大変苦労し、現場で働く職人さんと上手く意思疎通が取れないときもありました」と話す千葉さん。今では、「2級建築士や木造住宅耐震診断士の資格を取得し、リフォームや新築工事の設計、施工管理、営業など、さまざまな仕事を任されています。」

「建築業という職種が固いイメージがありますが、仕事も現場も楽しくやりがいのある仕事です。特に、リフォームでお客さまが望んでいたとおりに完成し、満足いただけたときはすごくうれいですね」と話す千葉さんに、仕事をする上で一番大切にしていることを伺うと、「協力業者やお客さまとの縁ですね。特にリフォーム工事はいろいろな方からの紹介が多く、人と人の縁を感じています」と答えてくれました。

家庭では、2児のパパで、「休日

は公園で遊ぶのが何よりの楽しみです」と目尻を下げて話す千葉さん。取材のときも終始やさしい笑顔で答えてくれました。すべてのお客さまに「ありがとうございます」と笑顔で感謝される姿が想像できません。これからも「人と人の縁」を大切にその笑顔でがんばってください。

有限会社アート工業

柴田町大字上名生字大原39-8  
TEL 57-1514



平成11年7月創業。主に住宅のリフォーム工事や新築工事を手掛けている。創業以来「みえないところもしっかり心配りをする」をモットーに多くのお客さまとの出会いを大切にしている。従業員6人。

人口と世帯数  
(平成29年1月1日現在)



38,299人  
(前月比2人増)



19,138人  
(前月比10人増)



19,161人  
(前月比8人減)



15,530世帯  
(前月比8世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。